

ずっと元気でいてね

二年 山本泰士

ぼくの家には、天というちゃいろでふわふわしたトイプードルがいます。天は、ぼくが生まれる前から、ぼくの家にあります。

天という名前は、お父さんとお母さんが、天竜川でほごした犬だから、天という名前になりました。ほごする前の三日間は、どしゃぶりだったそうです。どしゃぶりの中、たえたかもしれない天は、つよい犬だと思いました。ほごしたときには十才いじょうのおばあちゃん犬だとおいしゃさんにいわれたので、いつなにおおきてもおかしくないとかくごしてすぐごしてきました。

お父さんのしごとで、ぼくが二才のときにタイに行くことになりました。天もいっしょにつれていくことにしました。タイに行くひこうきの中で、

「天はもう、日本にはかえれないかもしれないね。」
と、はなしていたのをおぼえています。

タイでは、なかびょういんに行ったり、しゅじゅつをしたことがあります。びょういんにいっばい行っているから、

「びょうきでいなくなっちゃうかも。」

と、しんぱいになりました。だけど、天は、いつも元気になってかえって来てくれるので、ぼくはまいかいほっとします。

タイでは、5年間すごしました。天も元気でがんばってくれました。なので、どうしたら天も元気でいっしょにまた日本にかえられるか、かぞくみんなで考えました。それで、天をぼくたちと同じひこうきのせきにのせて、つれてかえりました。日本にかえってきた天は、日本の家のことをおぼえていて、とても元気によるこんでいました。しんぱいしていた気もちもふきとぶよなすがたをみせてくれたので、いっしょにかえってこれで、本当によかったと思いました。

天はぼくの家にもうすぐ十年になります。天は、もうはしつたり、ジャンプしたりできないけれど、いまのままでもいいので、すこしでもいっしょにいたいのです。いろいろなけいけんをした犬なので、これからは、ぼくの家でゆっくりすごしてほしいな、と思います。天、ずっと元気でいてね。